

活動報告

第 17 回

交流サロン報告

学校教育の現状と問題・課題について

講師 高槻市教育委員
会指導課 樽井 弘三氏
日時 平成 17 年 7 月
16 日(土曜日)

場所 高槻市市民公益
活動サポートセンター
目的 教育内容について
の最近のマスメディア
報道より考えると、変化
の曲がり角に近付いて、
対策に苦悩されている感
じを受けます。また、少
子化との関係、犯罪との
関係、世界の中の位置付
け等により課題・問題は
何か?を理解して認識を
深め、市民として対応・
解決法を共に考えること
が必要と思います。

生きたいと願っている。
(2) 大人のネットワー
クづくり
ー大人の實力を
見せるときー

(3) 「総合的な学習時
間」の可能性
ー「学力の保障」と
「市民性の形成」ー

3. 高槻市における学校
教育に係る施策
(1) 「確かな学力」を
育む教育活動の推進

(2) 人権を尊重し、豊

会員便り

公開関西大学講座

『世界を巡る：イスラームの世界』

講師 関西大学文学部
新谷英治教授

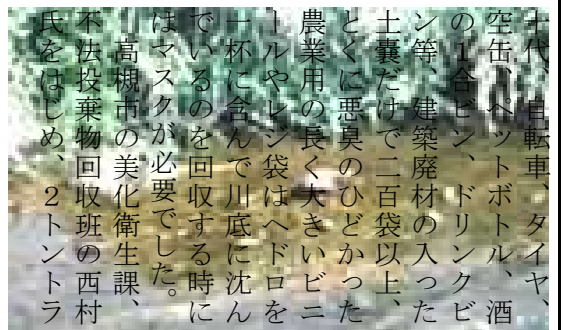
★EU 拡大の変遷

1951 年、欧州石炭鉄
鋼条約調印のフランス、ド
イツ、イタリアなど、6 カ
国が原加盟国。
その後 1995 年に 15 カ
国に、2004 年には東欧
ならびに地中海圏の 10 カ国
が新たに加盟して 25 カ国に
なった。
加盟できない場合の経済的
その他の不利が脅威となつ

かな心を育む教育の推進
(3) 開かれた学校園づ
くり
(4) 教育環境の改善

カルガモ 7 羽誕生

春 5 月下旬、女瀬川の天
堂橋上流でかわいいカモ
7 羽が親のそばをヨチヨ
チと泳いでいる姿に多く
の人々が感嘆していまし
た。
3 年 10 月 15 日より女
瀬川の川底よりバイク数



士代、自転車、タイヤ、
空缶、ペットボトル、酒
の合瓶、ドリル、クビ
ン等、建築廃材の入った
土嚢だけで二百袋以上、
とくに悪臭のひどかった
農業用の長く大きいビニ
ールやレン袋はへドロを
一杯に含んで川底に沈ん
でいるのを回収する時に
はマスクが必要でした。
高槻市の美化衛生課、
不法投棄物回収班の西村
氏をはじめ、2 トントラ

ックで二十回近くも取り
に来ていただいて、本当
に有難うございました。
5 人程度の清掃グルー
プが 2 年近くゴミ回収に
努めた結果、女瀬川には
水草や藻が大量に育ち、
川の自己浄化作用も活発
になって、川魚も驚くほ
ど多くなり、カモ、サギ、
カワセミ等も以前より多
く寄ってくるようになりました。
昔のよう女瀬川に、姫

て東方の諸国を走らせて
いる。
2005 年 5 月現在の
加盟候補 4 カ国の中にト
ルコ共和国も含まれるが、
過去のオスマン朝時代か
らのしがらみもあって、受
け入れには根強い抵抗が
あり、1987 年加盟申請
後、いまだ加盟交渉にも入
っていない。

また、最近、フランスと
オランダで EU 憲法の批
准が否決されたのも、トル
コ反対の要因がある。

★「トルコ共和国の EU 加 盟」の歴史的意味合い

かつてオスマン朝が東
ヨーロッパを征服し、さら
に西ヨーロッパに迫った

ことで、西ヨーロッパは政
治的にも社会的にもその
脅威の影響を蒙らざるを
得なかった
イタリア・ルネサンス、
イタリア戦争、宗教改革な
ど、いずれも今日のヨーロ
ッパに繋がる重要な社会
変容をもたらした出来事
に、オスマン朝は少なから
ず関与している。

EU が、トルコ共和国の
受け入れに消極的なのは
人権および民族問題、不安
定な経済などがあるが、根
源的理由としては、唯一イ
スラーム的伝統を色濃く
残す非ヨーロッパ的なる
ものではなからうか?

アオノリュウゼツラン

の花を見学して

7 月 16 日(土) 珍しい、青
の竜舌蘭、の満開が間近と
か言うことで、大阪薬科大
学薬用植物園を訪問しま
した。
このランの原産地はメ

キシコで乾燥地に多く分
布しているとのことだす
40、60 年養分を蓄え、
而も一生に一度だけ開花
するというめずらしい植
物。期待して観察に出か
けたが、まだ少し満開に
は早いようでした。
ひと月前に VG 観輪が
薬用植物園を訪問した時
は、花の茎のみでした。
ぜひ満開時にもう一度見
たいものです。
薬用植物園は、定期的
に一般市民にも解放・見
学会を催され、関西の大
学で一番手入れをされた
植物園だそうです。
薬の原料は、日進月歩
の現代社会でも殆んどと
言って良い程に草木です
この園を訪れると、私
たちは自然の恩恵を受け
ていることを実感しまし
た。
N.Y